

<・メイナ－大佐の2020年9月27日のビデオメッセージ（要約）>

私は10歳の時、初めてのプレゼントとして自転車を両親からもらいました。バナナシートという特別なサドル、変形したハンドル、カラフルな車体の自転車で、それに乗って走ると、近所の友人たちが歓声を上げました。私は自転車に誰も手を触れさせませんでした。ある友人が一回でいいから乗せてくれと、しつこく懇願しました。私は根負けして、一回だけ許しました。友人は自転車に乗って町内を一周し、戻って来ました。そのすぐあと、私が自転車に乗って走り、急な下り坂を降って行ったとき、前輪が突然外れ、私の体は前につんのめり、宙に飛び出して、歩道に叩きつけられ、全身傷だらけになってしまいました。自転車をよく調べてみると、前輪をとめるボルトが2本無くなっていました。私は、きっと友人がボルトを抜き取ったのだろうと思って、なんでそんなことをしたのか、と問い詰めました。すると友人は「必要だったから抜いたんだよ」と答えました。聖書には、モーセが神様から受け取った十戒が出てきます。出エジプト記20:15に「あなたは盗んではならない」とあります。いまコロナ禍にあって、自分の時間や機会が盗まれているように、多くの方が感じているのではないのでしょうか。何かを盗まれると、怒りや葛藤を心に感じます。怒りの反対は何でしょうか？ 単に盗まないということではなく、「喜んで、恵み深く与える」ことが、盗みの反対だと思います。私たちは、人の物を盗んではらないのは当然ですが、クリスチャンとして生きるとき、むしろ「喜んで、恵み深く与える」ことを、他者に対して実践して行きたいと思います。それは、ただ金銭に限らず、積極的に人を助けることを喜んで行っていくことです。喜んで恵み深く与える行為は、神様のご性質を表して行くことになります。詩編20編をぜひお読みください。それを読みながら、「神様、私が他の人々に恵み深く助けの手を差し出すことができるように、祝福してください」という祈りを、ささげていただきたいと思います。自己中心や恐れによって、心に壁を作らないでください。神があなたの心の門を開いて、祝福を注いでくださり、また、あなたが周囲の人々を祝福する者となりますように。